

1955.5.6  
246 13

五月一日を祝へ

一年一度の

□男も、女も、労働者は、人もまらさず、メーデーに参加せよ。  
 □凡ての労働者が團結すれば、此地球を、制御ができる。  
 □地上に生産する凡てのものを、其手に握ることが出来る。  
 □吹け、階級戦争への進軍喇叭、打て資本主義滅亡の号鐘。

メーデーを祝へ

語標

△八時間制の確立  
 △失業防止徹底  
 △最低賃銀制々定  
 △勞農露國承認

當日のプログラム

一日午後正一時 大倉山公園集合  
 (出發時迄、開會の辭、宣言朗讀、各團體代表挨拶)  
 同 一時三十分 同所出發  
 同 四時三十分 鐘紡裏吉田新田海岸着  
 (解散時迄、參加團體代表挨拶、解散の辭)  
 同 五時 解散

參加團體

日本海員組合  
 日本船同業會  
 日本郵船同業會  
 日本海員協會  
 日本勞働同盟聯合會  
 同 神戶聯合會

1955.5.6  
246 13

五月一日祭を祝へ

語標

△八時間の即時實施  
 △最低賃金の確立  
 △失業防止の徹底  
 △勞農露國承認

△労働者の祭日メーデー(五月一日)  
 △労働者の威力を示す爲めに